

令和5年度長崎県立諫早高等学校(全日制)・附属中学校 学校関係者評価

評価実施日：令和6年2月19日(月)

評価実施者：学校評議員

[評価] A 十分 B おおむね十分 C やや不十分 D 不十分

1 学校評価表における評価分野及び項目

番号	評価分野・評価項目	評価	コメント
1	学校経営 学校経営方針の明示等	B	<p>昨年度より評価が向上しており、さらなる向上を目指して努力していることは評価できる。</p> <p>「なぜ学ぶのか」を考えることは重要である。生涯を通じて自己実現を図ることができる資質を育成して欲しい。</p> <p>現在の急激な変化に対応するため、将来を見据えた設定も必要である。</p> <p>現状維持は後退である。次年度は評価のさらなる改善を望む。</p>
2	努力目標(1) 生徒指導の充実と教育相談の推進	B	<p>ヘルメットの着用について、生徒自身が考える場があっても良い。自他の命についても考えることも重要である。</p> <p>「いじめは絶対に許さない。」というモットーを様々な場面で強く訴えることが重要である。</p> <p>生徒達は、目に見える以上に生活基盤の変化に影響を受けている。心の平穏を保つのに苦労していると思う。</p> <p>ルール、挨拶のしつけは繰り返しが必要だが以前より向上している。</p>
3	努力目標(2) 師弟同行の下での道徳的実践力の育成	B	<p>道徳教育を充実させることで、子ども達の規範意識や志を高めることにつながる。</p> <p>平和教育や人権教育は自分自身に向き合う時間として大切にしたい。</p> <p>SNSの適切な使用法や、その問題点について指導を徹底する必要がある。</p> <p>日本以外の世界を自分の目で確かめることも大事である。</p>
4	努力目標(3) 授業改善による学力の充実・向上と進路希望の実現	A	<p>諫早高校・諫早高校附属中学校の肝の部分。さらに授業の深化を図り、生徒達の進路希望実現に向けて邁進して欲しい。</p> <p>わかる授業の一層の充実のため、授業アンケートの実施を検討して欲しい。</p> <p>行きたい大学を選ぶのか、学びたい学部を選ぶのか、生徒に考えさせてほしい。</p>
5	努力目標(4) 健康教育の推進と安全管理の徹底	B	<p>定期的な安全点検が行われているにもかかわらず、評価が低いのは、補修など整備が間に合っていないということなのか。生徒たちが、安心・安全に学校生活を送れるようお願いしたい。</p> <p>工事が行われている諫早公園裏の通学路を心配している。</p>

6	努力目標（５） 学校行事、生徒会活動及び 部活動の充実と推進	A	<p>昨年度より大きく評価が向上しており、取組の工夫や努力が感じられる。「生徒が主体」「生徒が主役」で諸活動が行われている結果だと思う。</p> <p>異年齢との関わり、異空間での体験など地域社会との交流活動を通じて多様な価値観に触れ、生きるうえで必要な判断能力の育成につなげて欲しい。</p> <p>５月体育大会実施については、高総体との兼ね合いを考慮する必要がある。</p>
---	--------------------------------------	---	---

	評価分野・評価項目	評価	コメント
7	努力目標（６） 芸術文化活動・読書活動の推進	B	<p>国語力強化のために、読書は有効な手段の一つである。市の図書館も隣接しており、図書館との連携をさらに進められないか。</p> <p>「読む」活動をぜひ取り入れていただきたい。</p> <p>触れ合うことが少ない芸術鑑賞は、子どもの成長に必要なと思う。</p>
8	努力目標（７） 省エネルギーの推進と美化意識の醸成	B	<p>省エネについては広い視野に立ち実践して欲しい。具体的な数値目標があれば、意識が高まるかもしれない。</p> <p>美化意識については毎日の教室がすべてを表していると思う。誰もいない教室を見て何を感じるか、それをどのように生徒に伝えるか考えて欲しい。</p>
9	努力目標（８） 併設型中高一貫教育の充実と推進	B	<p>中高が一体となるためには、生徒会活動も大きなウェイトを占めている。</p> <p>中高合同で行う行事は本校にしかできない行事であるから、大切にしてもらいたい。</p> <p>併設型中高一貫教育の利点を生かし、中高６年間で一段高い人間教育を期待したい。</p>
10	努力目標（９） 広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進	B	<p>入学する時より、進級や卒業する時に生徒が「ここで学んでよかった。」と感じ、保護者から「子どもを通学させて良かった。」と思っただけの学校づくりを今後も期待したい。</p> <p>生徒数が減少する中、生徒が行きたいと思うようなPRの努力をお願いしたい。</p> <p>学校情報を保護者に伝達することは大切である。</p>
11	その他 総合学習、ホームルーム活動、 教職員の資質向上への取組、保護者との協力体制、PTA活動等	B	<p>どの項目も評価が向上しており、改善・努力が認められる。</p> <p>PTA総会も無駄を省くことを心掛け、時間短縮することは良いと思う。</p>

2 自己評価等への取組

	評価分野・評価項目	評価	コメント
1	自己評価への取組	B	<p>自己評価に組織的に取り組んでいるが、形骸化しないようにお願いしたい。</p> <p>評価項目や指標の設定に当たっては、常に学校の実情や地域の実情に応じて適切に対応して欲しい。</p> <p>生徒・保護者・職員の評価がどれも上がっており、このまま前進したら良いのではないか。</p>
2	学校運営の改善に向けた取組	B	<p>学校運営の課題を全職員で共有して、さらなる改善を期待したい。</p> <p>本校の社会的役割、教育理念、今後の方向性を学校運営に役立てるため、細部にわたり学校評価を役立たせようとしていることに頭が下がる。</p> <p>細部にわたる目標設定のため、大きな課題がぼやけていないか危惧する。</p>